

2023年4月21日(金) 第2917回例会 形式:対面 天候:晴れ  
合唱:奉仕の理想

会長 青木 義美 幹事 室伏 学

事務所:神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会

TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716 例会場:ニューウェルシティ湯河原 例会日:毎週金曜日 12:30~13:30

## 会長挨拶

青木 義美

明後日の地区協議会に出席される皆さんには宜しくお願いします。

投票日という事もあって戻って来からの二次会は様子見のようですが。

さて先週私の高校の同窓地区会が沼津でありまして、私は熱海代表で参加してきました。約60人くらいの会合ですが、北海道から西は大阪からも参加してました。年齢的には私が中間くらいでしょうか、85才から40才くらいの年齢幅です。

その中で御殿場クラブのメンバーがいたんで、ロータリー話になりました。第2620地区もご多分に漏れず例会数が月2回とか3回が大半ですが、御殿場クラブは第五曜日までしっかり4回・5回の例会を行っているようです。これは古いメンバーが2回や3回ではロータリーが寂しいとの事で実行しているようです。我々湯河原クラブも月4回を実行していますが、なにかこの4回例会が誇りになるようになってきました。もちろん出席は自主性を重んじて出席率を厳しく言いませんが、やはり月4回会える権利はとても重要に思っております。

今後も是非出席を宜しくお願いします。。

## 幹事報告

ガバナーより

1.「新会員's VOICE(新会員インタビューご協力のおかげ)」の依頼がありました。

ご参加いただける方は、私、幹事・室伏宛に 4月28日までに返信ください。

対象は、入会3年未満の方だそうです。

## 連絡事項

1.23日(日)は地区研修・協議会です。出席義務者の方は10時に湯河原駅をバスが出発しますので遅れないようにお願いします。

## スマイルボックス

会員誕生日 佐藤友彦君(4/14)

ご夫人誕生日 土屋一弘君(節子様・4/25)

佐藤友彦君・丸塚順子君

湯河原新聞に商工会青年部卒業が掲載されました。

## 出席報告

ゲスト 1名 ビジター 0名

会員 23名 欠席8名(免除者2名)

出席率 71.43%

前回の修正出席率 90.48%

前々回の修正出席率 90.48%

事前メイクアップ 1名

ゲスト さがみ信用金庫湯河原支店 支店長 廣瀬 真 様



## 第190回中小企業景気動向調査(県西地区版)について

さがみ信用金庫湯河原支店、支店長の廣瀬と申します。このたびは卓話の機会を賜り、ありがとうございます。本日は第190回中小企業景気動向調査(県西地区版)と、2023年(令和5年)の経営見通しについてお話しさせていただきます。お手元にお配りした資料と合わせてご確認ください。

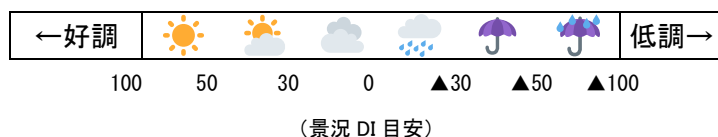
## ・中小企業景気動向調査の概要と概況

景気動向調査は県西2市8町と秦野市、中郡にあります。当庫取引先の317社を対象に行い、98.1%にあたる311社から回答を得ました。

総合的な概況としまして、景況感を表す業況DI(各質問項目で「増加(上昇)」したとする企業が全体に占める構成比と、「減少(下降)」したとする企業の構成比との差。判断指数ともいう)は前期比27.3ポイント改善の▲2.6、売上DIは15.7ポイント改善の16.7、収益DIは14.4ポイント改善の1.0とそれぞれなりました。総じて大幅に改善したといえますが、特に足柄下郡の業況DIは他地区(小田原中央▲5.5・小田原川東/中郡▲1.9・足柄上郡/秦野▲8.4)と比較して20.0(前期比62.9)と大幅な改善をみせました。これは足柄下郡のサービス業、小売業の景況感が上がっていることが要因としてあげられます。各分野の状況も表した「業種別業況天気図(県西地区)」を示します。

				前期	今期	来期※
業種\期	R3 10-12	R4 1-3	R4 4-6	R4 7-9	R4 10-12	R5 1-3
総合						
製造業						
卸売業						
小売業						
サービス業						
建設業						
不動産業						

凡例 ※来期:来期見通し



ただし来期については、業況DIは15.5ポイント悪化の▲18.1、売上DIは32.5ポイント悪化の▲15.8、収益DIは22.6ポイント悪化の▲21.6ポイントとなる見通しです。

以降、業種別の調査先のコメントについて言及いたします。

## ・製造業

円安進行による海外輸出製品の需要拡大から、当金庫取引先においても売上が増加している事業者がみられます。ただし全般的に原材料高を問題視する声が依然として多くなっています。

## ・卸売業

インフレによるコスト高については値上げ対応をとっている事業者が多く見られるものの、なかには取扱品目や内容量を減らすなどの対応をしている事業者もみられます。また酒類卸売業においては、観光客増加による団体旅行や組合、団体の会合などが再開されつつあることから、売り上げが回復傾向にあります。

## ・小売業

全国旅行支援の影響によって観光地の土産物販売店では客数が増加しています。団体客の利用もみられ、業況には回復の兆しがみられます。

## ・サービス業

全国旅行支援の開始以降、宿泊施設の稼働率は改善傾向にあります。海外からの旅行者も増加しつつありますが、中国からの観光客を主なターゲットとしていた事業者も多いため、施設ごとに改善具合に差がある様子となっています。

## ・建設業

補助金を活用した宿泊施設の改修や新規宿泊施設の建設などの受注により、受注状況が良好な事業者もみられます。一方で業界内の人手不足感は強く、受注は安定して確保できていても人材を確保するという面で問題を抱える事業者が多くなっています。また全体的に、建築資材高騰に対する影響を問題視する声が依然として多くなっています。

## ・不動産業

コロナ禍によるリモートワークの浸透により、東京や横浜方面からの移住者が継続的に増加していることから、分譲住宅の販売状況は安定しているようです。一方で商品在庫が不足しており、仕入れ物件の情報収集に苦慮しているとの声がありました。

以上となります。ご清聴ありがとうございました。

(文・編集:丸塚順子(4月会報担当)/クラブ会報委員会)